

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございませう。

村民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を健やかにお迎えになられたことと、心からお慶びを申し上げます。

また常日頃より、村政全般

にわたりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、さまざまな話題がございました。

スポーツでは、テニスの大坂なおみ選手が1月に全豪オープンで優勝したのを皮切りに、陸上100mではサニブラウン・ハキーム選手が9秒97の日本新記録を樹立。サッカーの久保健英選手や、野球の大谷翔平選手、バスケットボールでは八村塁選手などが、世界の舞台で活躍をし、全英女子オープンでは渋谷日向選手が優勝を飾りました。さらに9月には、ラグビーW杯が日本で開催され、日本代表が予選3試合を勝ち、初めて決勝トーナメントに進む中で、日本代表のスローガン「ONE TEAM(ワンチーム)」は、流行語大賞をとるほどの社会現象を起しました。

また、国内では4月に新元号である「令和」が発表され、5月に126代目となる新天皇がご即位。新しい時代が幕を開けました。

一方で、世界では、香港で大規模デモが発生。隣国韓国は、徴用工問題からのポタンの掛け違いが続く中、若干16歳のスウェーデンの少女グレタさんが国連で「How dare you?(よくもそんなことを)」と環境問題に取り組みない大人に投げかけた言葉が印象的でした。

日本においては、昨年も異常気象が続き、本村でも6月の集中豪雨により、道路や農作物等に甚大な被害が発生しました。また、10月の台風19号にあっては関東に上陸し、本村でも初めてとなる「避難勧告」を発令する事態となりました。幸い



第9回やさい王国昭和村フォトコンテスト 長谷川正和「早朝のレタス畑」

にも人命に関わる重大な被害は出ませんでした。日本各地で起こる災害への備えをするべく、昨年は自主防災組織拡大のための補助金制度を作り、さらなる防災行政無線網の整備を進め、今後、各避難所に必要な防災備品を配備する計画です。

本年は、防災計画を見直す年となることから、新たな防災マップを作製するとともに、防災拠点となる昭和村役場の新庁舎においては、着々と建設に向けて進む中、基本設計を行う設計業者を決定し、新庁舎のイメージ図を皆様に公開していきたいと考えております。

最後に私自身を振り返りますと、平成28年の5月に2期目の村長に就任し、この4年の間に皆様にお約束いたしました公約を果たすべく務めて参りました。昭和村の財政状況を改善させながらも、保育料の軽減や英語教育強化、小中学校のエアコン設置など、子育て支援や教育に力を注ぎました。また、各種の補助事業の採択で産業の振興を図り、予防接種補助や不妊治療助成、高齢者支援のボランティアセンター設立など健康福祉の村づくりを推進。河岸段丘マラソンをはじめとするスポーツイベントでも健康増進を図るとともに昭和村の認知度を高めてきました。また、防災行政無線整備や防犯カメラ設置など、安全で住みやすい村づくりを進めて参りました。

今年56年ぶりに東京でオリンピックが開催される記念の年となります。私としても2期目を締めくくり、更なる飛躍の年となりますように、「みんなでつくろう元気な昭和村」の実現に向け、誠心誠意頑張る所存であります。皆様には、今年も本村の村づくりに対し、なお一層のご指導、ご協力を賜り、昭和村がワンチームとなって、発展できますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝と、ご多幸を心からご祈念申し上げます。昭和村の更なる発展と村民皆様の笑顔があふれ、元気な声がこだまする素晴らしい年となりますように祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

昭和村長 堤 盛吉